

探してみよう！ 富士見市の湧き水

富士見市環境施策推進市民会議
富士見市自治振興部環境課



富士見市の湧き水を見に行こう！

大地に降った雨や雪は地面にしみこみ、地下水となって、長い時間をかけて流れていきます。そのうちに人の力をかりることなく、自然に地表に湧き出してきた水のことを「湧き水」といいます。

昔の人びとは、生活のさまざまな場面で湧き水を利用していました。しかし、蛇口をひねれば簡単に水が出る今、私たちと湧き水との関わりは、昔とくらべて薄くなっています。また、湧き水のある場所に家を建てたり、しみこむ地下水の量が少なくなったりすることにより、湧き水の数も少しずつ減ってきています。

私たちの住む富士見市には、今もまだ多くの湧き水があります。力強く湧き出る富士見市の湧き水をみんなで見に行きましょう。

～湧き水は富士見市の自然にとって貴重な財産です。
みんなで大切に守っていきましょう！～

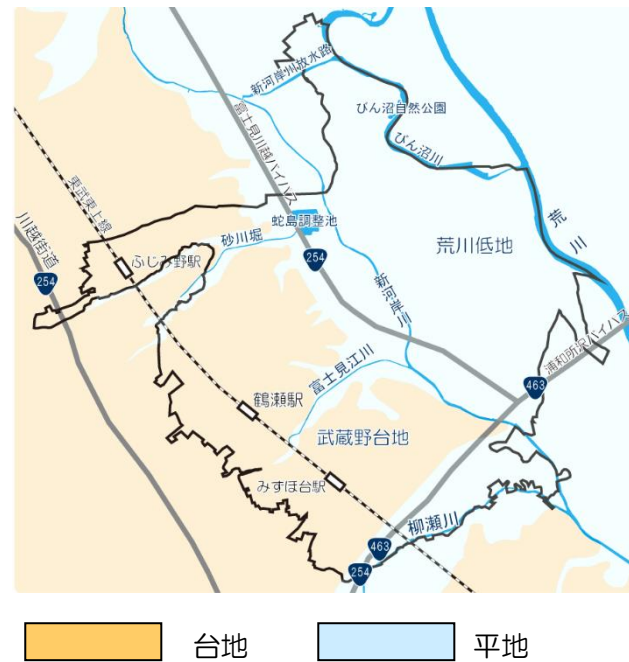
発行／富士見市環境施策推進市民会議・自治振興部環境課
TEL.049-251-2711 FAX.049-253-2700

「探してみよう！富士見市の湧き水」2018年3月改訂版

富士見市に湧き水が多いのはどうして？

武蔵野台地の端にある富士見市は、市の南西部が台地、北東部が平地に分かれています。

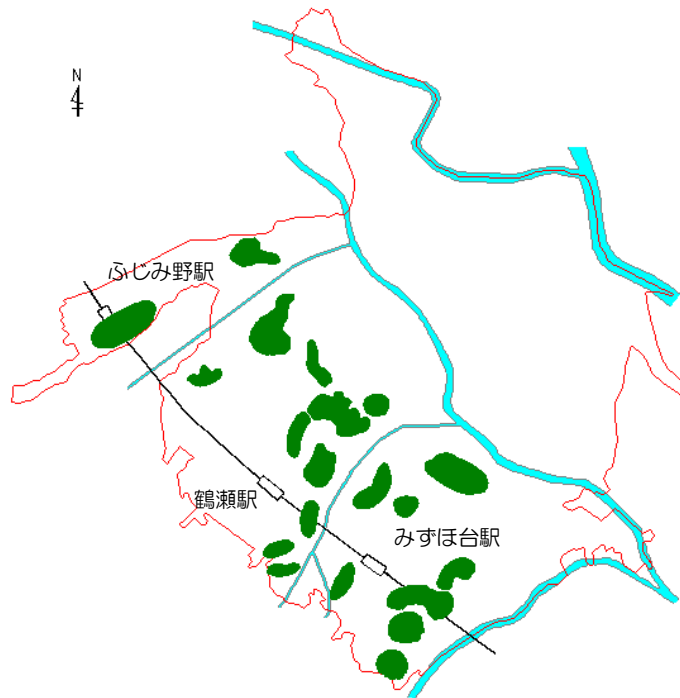
その地形の特徴から、他の市や町に比べて、富士見市には多くの湧き水があるのです。



台地 平地

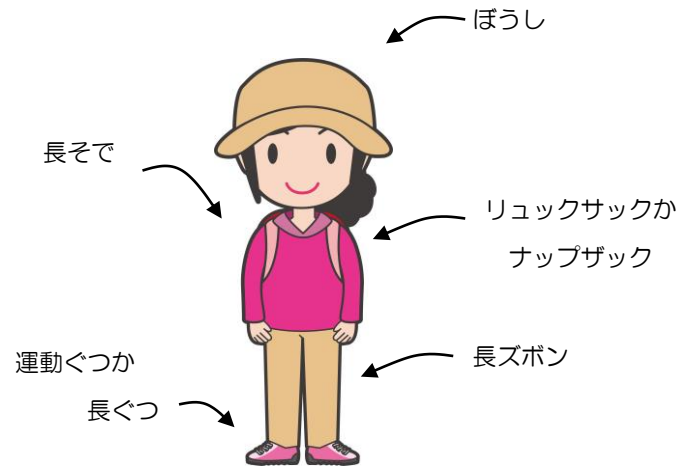
湧き水と遺跡との関係

人の生活には、水が欠かせません。原始・古代の人びとが生活していた場所は、湧き水の近くにつくられることが多く、そこからたくさんの遺跡が見つかっています。



富士見市内で遺跡が発見された場所

湧き水を探しに行くときに、準備するもの



- ◆時計、ハンカチ、財布（バス代）、筆記用具、手帳などは、すぐに取り出せるようなところに入れておきましょう。
- ◆雨具や防寒着、図鑑、地図、弁当、水筒、タオル、虫めがねなどをリュックに入れましょう。

湧き水を探しに行くときの注意

- ☆市内にある湧き水には、ばい菌がたくさんいることがあるので、そのまま飲むとお腹をこわすことがあります。ぜったいに飲まないようにしましょう。
- ☆湧き水の周りには藻やコケなどがはえており、すべりやすいところがあります。湧き水に近づくときには、足元に気を付けましょう。
- ☆湧き水のある場所は、ひと気が少なく、暗い場所にあるものもあります。一人では行かずに、友だちや家族といっしょに行きましょう。
- ☆湧き水はぜったいに荒らしてはいけません。また、ごみは必ず持ち帰るようにしましょう。

湧き水の調べ方

- ①湧き水とその周りの様子を観察し、気になったところがあったらスケッチしておきましょう。

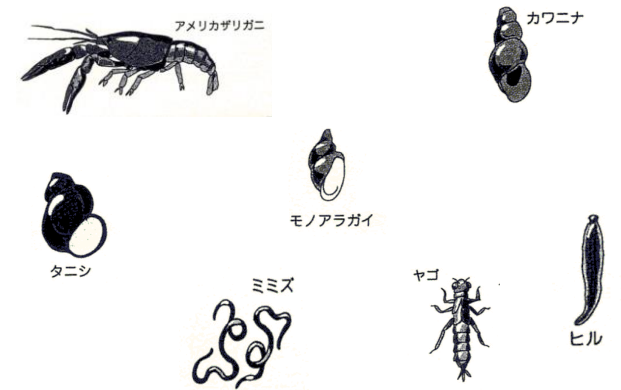
湧き水の周りには、水の神様をまつた水神すいじん塔や、弁財べんざい天があるかもしれません。注意して見てみましょう。



- ②湧き水の周りには生き物を観察してみましよう。

◆水辺の生き物

湧き水などの水辺には水草が生え、さまざまな生き物たちが暮らしています。探してみましよう。



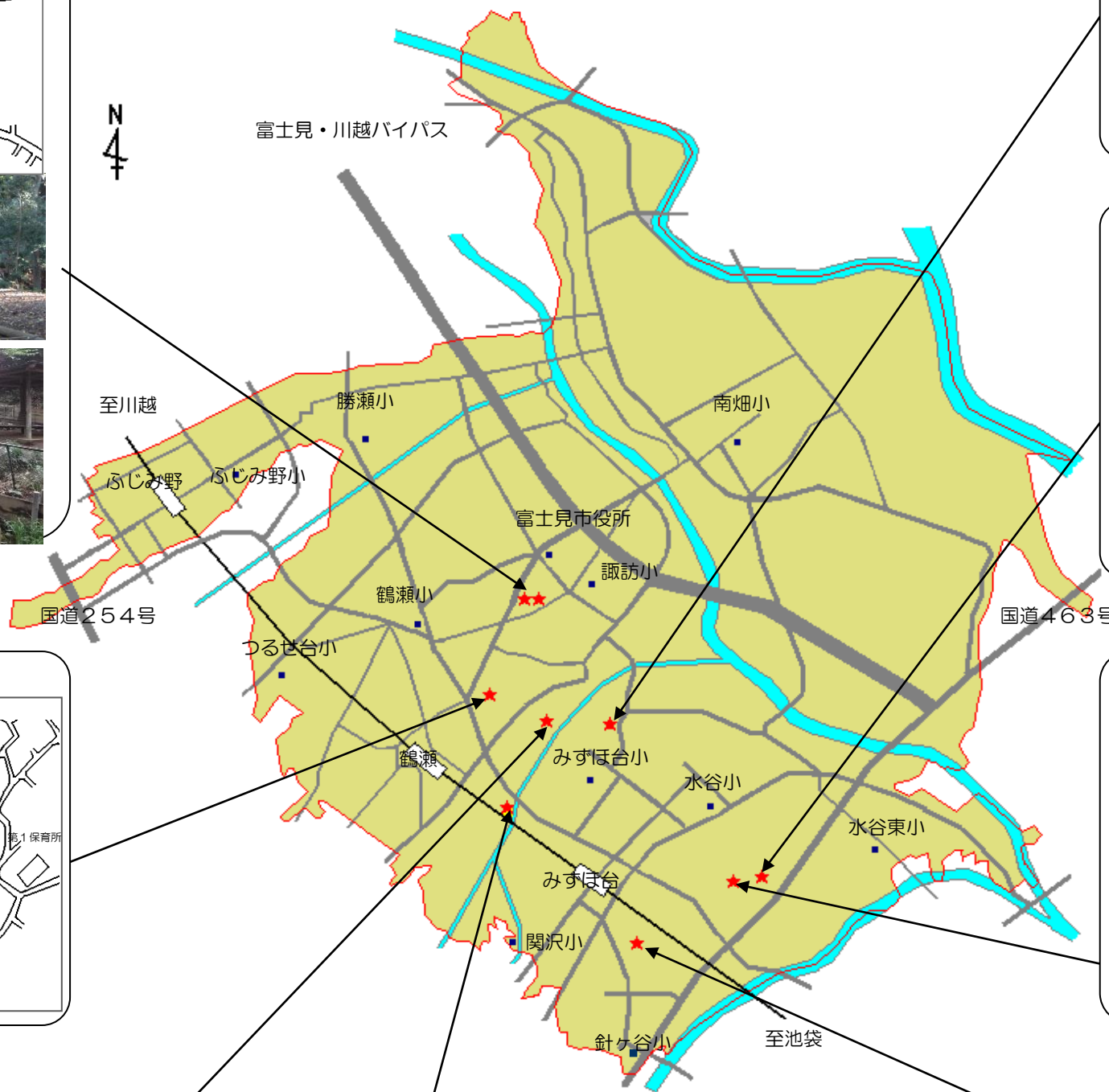
- ③調査票を作って、湧き水の様子をまとめましよう。

下のような調査票を作って、調べたことをまとめてみましよう。調べる項目は下の例のほかにもありますので、自分で考えて項目を加えましよう。

日時	天気	
湧き水の名前		
まわりのようす	〈スケッチ〉	
確認のできた生き物	〈スケッチ〉	
湧き口	確認できる・確認できない・その他	
水の量	多い・少ない・しみだす程度・湧いていない	
気づいたこと		

富士見市 湧き水マップ

★ 湧き水

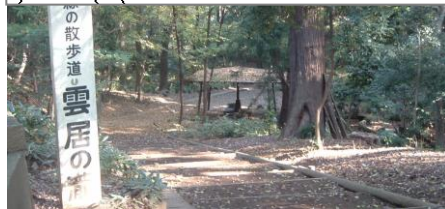
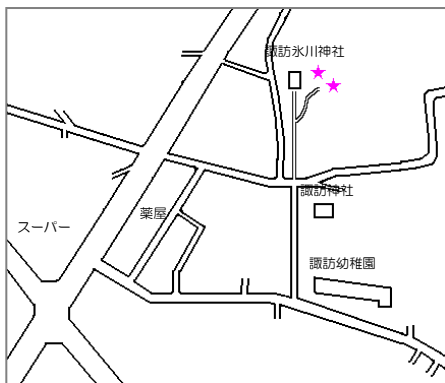


諏訪氷川神社 場所：諏訪1-13

豊かな森が今も残っている諏訪氷川神社は、緑の散歩道として気軽に散歩を楽しめる場所にもなっています。

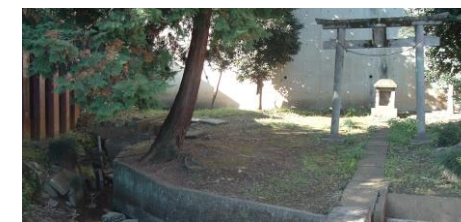
境内の脇の階段をおりていくと、「雲居の滝」という地面を掘ってつくった人工の滝があります。近くにある弁天の池を水源としてつくられましたが、湧き出る水の量は少なくなっていました。

その近くには別の湧き水があり、こちらは今でも多くの水が湧き出ています。



上井戸（神井戸） 場所：大字水子993

水の神様である弁財天をまつる江嶋神社にある池で、かつては洗い場などに利用されていました。



台下（石井緑地公園） 場所：大字水子4385

昔から緑豊かだったこの地域に湧き出していた多くの湧き水のひとつが、公園の東側に残っています。



谷津の森 場所：鶴馬1-16

第1保育所の近くの入り口を入れて左側にあり、多くの湧き水が流れ出ています。



★オススメ★ おいど 場所：大字水子5104

性蓮寺の裏にあるこの湧き水は、すぐそばを鎌倉道が通り、旅人の喉を潤していたと言われます。



来迎寺下（来迎の泉） 場所：鶴馬2-1

来迎寺脇の坂の途中にあり、近くに住む人びとが水まきなどに利用しています。



上の水車（江川親水公園） 場所：関沢1-6

線路の下を通りぬけてきた湧き水が、公園とつり堀の間から流れ出して、江川にそそぎこんでいます。



クリカラ不動（栗谷津公園） 場所：針ヶ谷1-4

市内で最も多くの水が湧き出るこの場所は現在公園となっており、市民の憩いの場所となっています。

